

EMS-61 のマイクゲイン調整

EMS-61 のリアケースに貼られている銀色ラベルに記載の製造番号が M3*****以上 (M4*****、M5*****等) の製品には、マイクゲインを調整できる半固定抵抗が実装されています。調整に必要な工具は先端の細いプラスドライバーと、できればセラミックの調整棒、なければマイナスの精密ドライバーのみで、測定器は不要です。但し弊社ではサポートは致しかねますので、全て自己責任でお願いいたします。

調整方法

下記の図 1 に示すマイクのケース裏面のネジ4本を外し、基板が見える状態にします。この時、勢いよくケースを開くと内部の PTT キーなど機構部品が飛び散って紛失や、どのような組み立てになっていたかわからなくなることがあるので、慎重に開けてください。

図 2 の半固定抵抗を右に回すと変調が深く、左向きに回すと浅くなります。デリケートな部品なので回すときに力を入れすぎないようにご注意ください。交信相手をお願いしてレポートをもらい、良い変調になったらケースを元通りに組みなおします。

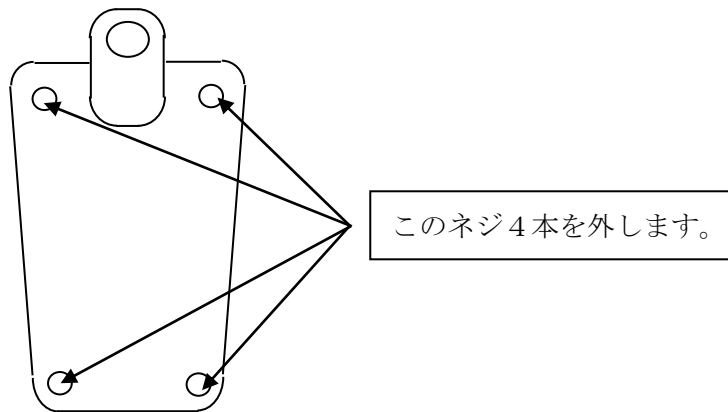


図1 マイク裏面

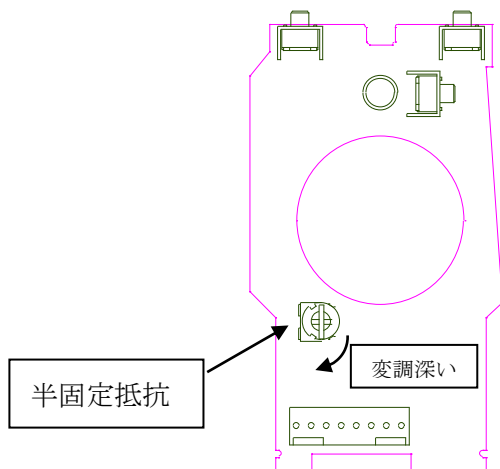


図2 マイク基板